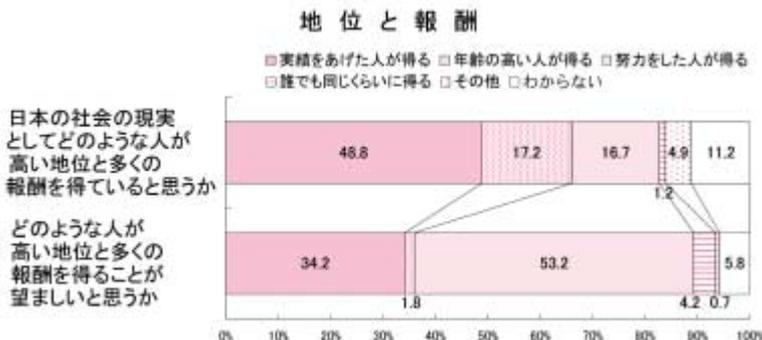


〈資料〉

地位・報酬の評価基準は「年齢」よりも「努力」が望ましいが、現実とは逆

—内閣府「社会意識に関する世論調査」—

努力をした人が、高い地位や報酬を得るのが望ましいと5割以上の人が考えているにもかかわらず、現実には「努力をした人」よりも「年齢の高い人」の方が高い地位や報酬を得ていると感じている割合が高いことが、4月9日に内閣府が発表した「社会意識に関する世論調査」で明らかになった。調査は今年1月から2月にかけて全国の男女1万人を対象に実施。6586人から有効回答を得た。同調査は、国民の社会や国の現状とあり方に関する意識の動向を把握する目的で行われており、1998年から2004年まで隔年で実施されていた。



(1) 地位と報酬

日本の社会の現実として、どのような人が高い地位と多くの報酬を得ていると思うか、また、どのような人が高い地位と多くの報酬を得ることが望ましいと思うか聞いたところ、図のような結果となった。

まず、現実について聞いたところ、「実績をあげた人が得る」と答えた人が48.8%で最も多く、次いで「年齢の高い人が得る」(17.2%)と「努力をした人が得る」(16.7%)が拮抗している。「誰でも同じくらいに得る」と答えた人は1.2%とわずかだった。なお、「わからない」と答えた者の割合が11.2%となっている。

一方、現実ではなく、どのような人が高い地位と多くの報酬を得ることが望ましいと思うか聞いた

ところ、「努力をした人が得る」と答えた人がトップとなり53.2%を占めた。次いで「実績をあげた人が得る」をあげた人も34.2%にのぼったが、前の設問で2番目に多かった「年齢の高い人が得る」と答えた人の割合は1.8%に激減。「誰でも同じくらいに得る」(4.2%)をあげる人より少なかった。これを前回調査と比較すると、「努力をした人が得る」(51.1%→53.2%)と答えた人の割合が上昇している。

(2) 青少年の自立に必要なこと

青年の成長や自立のために何が必要だと思うか聞いたところ、以下のような結果となっている。

①安定した仕事を持つ

「安定した仕事をもつ」ことが「必要だと思う」とする人の割合

が97.5%（「必要だと思う」87.1%+「どちらかというが必要だと思う」10.4%）、「必要だと思わない」とする人の割合が1.0%（「どちらかというが必要だと思わない」0.7%+「必要だと思わない」0.3%）となっている。

②親元を離れて暮らす

「親元を離れて暮らす」ことが、「必要だと思う」とする人の割合が65.8%（「必要だと思う」32.5%+「どちらかというが必要だと思う」33.3%）、一方「必要だと思わない」とする人の割合が17.1%（「どちらかというが必要だと思わない」10.8%+「必要だと思わない」6.3%）だった。

③結婚する

「結婚する」ことが「必要だと思う」とする人の割合が82.3%（「必要だと思う」56.9%+「どちらかというが必要だと思う」25.3%）。反対に「必要だと思わない」とする人の割合が7.6%（「どちらかというが必要だと思わない」5.7%+「必要だと思わない」2.0%）と少数だった。

④子育てをする

「子育てをする」という機会については、「必要だと思う」とする人が86.7%（「必要だと思う」62.5%+「どちらかというが必要だと思う」24.2%）で、結婚より高い割合だった。「必要だと思わない」とする人の割合が5.1%（「どちらかというが必要だと思わない」3.7%+「必要だと思わない」1.4%）にとどまっている。